

## 平成30年度 事業報告

### 《 法 人 》

#### 1 重要な決議事項の経過

##### (1) 理事会・評議員会

平成30年 6月 4日(月) 理事会

場 所 みずほの里 大会議室

協議事項 社会福祉充実残額の算定及び定時評議員会の招集について  
平成29年度 2次補正収支予算について  
平成29年度 事業報告及び収支決算について  
監査報告  
平成30年度 1次補正収支予算について  
建設工事等に係る入札手続きについて  
内部監査規程の制定について  
労働条件限定職員転換制度実施規程の一部改正について

平成30年 6月20日(水) 定時評議員会

場 所 みずほの里 大会議室

協議事項 社会福祉充実残額の算定について  
建設工事に係る入札手続きについて  
平成29年度 2次補正収支予算について  
平成29年度 事業報告及び収支決算について  
監査報告  
平成30年度 1次補正収支予算について

平成30年 8月28日(火) 理事会

場 所 みずほの里 大会議室

協議事項 給与規程の一部改正について  
ひいなの里小規模多機能型居宅介護事業所の名称について  
小多機 hina (仮称) 建設工事契約の締結について

平成30年11月19日(月) 理事会

場 所 みずほの里 大会議室

協議事項 理事長等職務の執行状況報告について  
小多機 hina (仮称) 建設工事の進捗状況について  
経理規程の一部改正について

内部監査規程の一部改正について  
小多機 hina（仮称）建設に係る備品等購入について

平成31年 3月18日（月） 理事会

場 所 みずほの里 大会議室

協議事項 理事長等職務の執行状況報告について  
小多機 hina 施設整備事業について  
評議員会の招集について  
平成30年度 2次補正収支予算について  
平成31年度 事業計画について  
平成31年度 収支予算について  
定款の一部改正について  
定款施行細則の一部改正について  
役員等報酬規程の一部改正について  
理事等職務権限規程の一部改正について  
経理規程の一部改正について  
就業規則の一部改正について  
給与規程の一部改正について  
理事の退任及び選任について  
施設長の任免について  
借入金連帯保証人の変更について

平成31年 3月27日（水） 評議員会

場 所 みずほの里 大会議室

協議事項 理事等職務の状況報告について  
小多機 hina 新規事業の進捗状況について  
施設長の任免について  
平成30年度 2次補正収支予算について  
平成31年度 事業計画について  
平成31年度 収支予算について  
定款の一部改正について  
定款施行細則の一部改正について  
理事等職務権限規程の一部改正について  
役員等報酬規程の一部改正について  
理事の退任及び選任について

(2) 経営会議（月1回：計12回）

理事等職務権限規程が定める理事担当業務の進捗状況管理や法人経営（収入管理、サービス管理等）に関する事項の検討協議を実施した。

2 事業運営上生じた重要案件

運営上生じた重要案件はございません

3 監事監査、法人一般指導監査及び実地指導等における指摘事項

(1) 内部監査 5/1, 2（業務）、10/11, 15（業務）

(2) 監事監査 5/11（会計・業務監査）

(3) 法人監査 所轄庁が行う監査の実施なし

(4) 実地指導 みずほの里（地域密着長期 11/21）、（GH 11/28）  
ながすずの里（空床型短期 1/8）

上記、施設実地指導における大きな是正事項等なし。

4 その他役員会等から報告を求められた事項

報告等の請求はございません

5 法人事業報告

(1) 経営基盤の安定

平成30年度における事業収入は適正な稼働確保並びに介護報酬の改定もあり、当初予算対比101.1%、前年度対比100.9%となった。費用等は年度途中で石油等製品の値上げ等があったが、計画する職員の確保が未達となったことから当初予算対比99.9%、前年対比103.8%と推移し、新規事業年度から事前準備に係る経費等も含め前年より増加した。また、法人経営の安定からも法令令遵守・組織統治、財務管理、人事労務管理、リスク管理、人材教育研修管理、地域公益管理、介護サービス管理など理事の担当業務制による進捗管理に努めた。

(2) 施設整備

経年劣化等に伴う施設及び補修など保全に努めた。平成30年度は、河北町第7期介護保険事業計画に基づき、開設準備室を中心に小多機 hina 施設整備事業の推進を行った。

(3) 法人本部事務局体制の確立

法人組織体制の強化として経営企画室による法人諸課題を検討、新規事業に係る

企画等や進捗管理等を実施した。

組織統治に係る内部監査規程を整備し、一部限定ではあるが組織風土及び利用者の権利擁護等を重点的課題として監査を実施した。また、法人本部主導での大口取引業者とのサービス検討会や会計事務所指導による適正な管理等を実施した。

#### (4) 人材育成

法人教育方針及び年間計画のとおり、新人職員研修会や階層別研修会として中級研修・上級研修・管理職研修を実施した。また、人事考課制度の維持管理のため、外部講師（社会保険労務士）を招聘して法人本部主催として考課者研修や外部団体が主催する専門研修への参加を行った。

#### (5) 選ばれる施設・選ばれる職場

働き方改革に伴う法律改正の事前準備や高年齢職員が働きやすい環境の整備など一人ひとりのワークライフバランスに配慮した多様な働き方への支援や永年勤続となる職員への精勤手当の創設など対応を行った。また、山形労働局及びハローワーク山形、福祉人材センターと協働で施設見学会等の開催やマイナビ新採就職サイトを利用して小多機 hina 新規職員の確保に努めた。

介護職員の資質向上を図るため、介護職員実務者研修対象者 5 名へ奨学貸付制度を活用し受講費用の一部貸付を実施した。

#### (6) IT化推進

昨年度同様、ホームページやソーシャルメディアネットワークなど有効に活用や専門家からの支援などを受け、定期的な法人、施設情報（地域貢献等）、求人情報等を発信開した。関係法令に従い 6 月末まで法人の財務状況や定款、現況報告等を公開した。また、事業計画のとおり ICT・介護ロボット等（みずほ・ながすず）を導入した。

#### (7) 社会福祉法人としての公益的な取組みの検討

理事の担当業務として法人地域貢献委員会を開催し、拠点における公益的な取組の推進や進捗管理を行った。また、社会福祉法人として低所得者への利用者負担軽減制度を各拠点で実施、認知症カフェの開催や就業支援などを実施した。

例年通り、関係機関と連携して行政が主催する介護保険事業運営協議会、在宅医療連携推進会議、地域包括支援に関するネットワーク会議、地域包括ケアシステムの構築に向けた会議等に積極的に参画した。

また、地区会・民生児童委員等と連携し、地域高齢者会食会・家族介護教室・認知症サポーター養成講座・夏祭りを開催する他、地域行事・資源回収等への参加を

通して支援活動の充実と地域住民との交流を図った。

山形県の登録研修機関として喀痰吸引等研修会を実施し、法人職員以外の受入を積極的に行い地域における介護人材の育成に努めた。

## 《 みずほの里 》

### 1 経営基盤の安定

長期入所平均稼働率 97.3%（前年 96.0%）、短期入所平均稼働率 96.2%（前年 98.6%）、大規模型デイ平均稼働率 78.8%（前年 85.8%）、認知症対応型デイ平均稼働率 61.6%（前年 70.9%）、GH平均稼働率 98.6%（前年 98.9%）、居宅介護担当確保 1,412 件（前年 1,538 件）となった。長期入所は体調不良等による入院者や退所者が少なく目標を上回った。短期入所は長期の空床が少なかったこともあり、目標を下回る稼働となった。デイと認知デイは上半期に新規契約者がほとんど増えない状況だったこともあり目標に大きく届かなかった。G.H はほぼ目標通りの稼働となった。居宅については、ながすずの里への契約者移行の影響が大きく、前年より大きく目標稼働を下まわった。みずほの里全体での収入は予算を上回った。

### 2 施設整備

上期にトイレブース設置工事、LPGバルクタンク入れ替え工事およびユニット床下排水ポンプの取り換え工事を実施。下期にはクッキングヒーター及び電気オーブンレンジの入替、暖房用温水循環ポンプ交換、ユニット特養へのガス式乾燥機の導入、リフト入浴装置の入替を実施。また、経年劣化による建物、電器、設備機器の修繕を行った。

### 3 人材育成

排泄改善計画、デイ自立支援各部会を新たに立ち上げ、課題検討を行った。また、平成30年度もキャリア段位の取り組みを行っているが、アセッサー職員の負担が大きくキャリア段位取得者養成までには至っていない。アセッサーの養成には今年度は3名受講している。そのほか、パート職員の研修も3月に実施した。

### 4 選ばれる施設・選ばれる職場

介護職員の負担軽減、安心できるケアの提供のため、介護ロボットの導入を積極的に検討している。腰痛予防対策に効果のある介護ロボットのマッスルスーツの導入を行っており、労災防止に向けた効果を期待している。見守りロボット（眠りスキャン）とリクライニング車椅子機能付きベッド（リショーネ）は介護負担軽減や利用者の安全確保の導入効果が得られており、今後は導入数を増やしていきたい。インカム導入はナースコールとの連動を考えているため、ナースコール交換予定である来年度に考えていきたい。

施設、在宅部門において口腔衛生管理に向けた取り組みとして歯科衛生士を採用

していただき、口腔衛生管理向上の効果がみられた。

今年度新たに奨学貸付金を1名の職員が利用し、介護福祉士資格を取得している。

## 5 みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携の推進

相談員と居宅介護支援部門がグループ内での定期的な勉強会や情報交換を実施した。その他の関係機関との連携も同様に行った。

## 6 社会福祉法人（施設）としての公益的取組の検討

社会福祉法人の公益的取組みとして、利用者負担軽減事業を7名の利用者に対して実施した。また、新たに自主事業としてデイサービスの総合事業対象者への軽減事業も開始した。その他、夏祭りや各委託事業、ミュージックケアや理学療法士による体操（高齢者サロン）等各種講座の依頼を受け職員を派遣し地域に還元した。また、市内3事業所の他に山形市の事業所から受講者を受入れての喀痰吸引等の研修や認知症研修、各種学校の実習生の受入も積極的に行った。会食懇談会はアットホームな関係づくりをテーマに、昨年度の3回開催より多い5回開催とした。

## 7 その他

### みずほの里 諸行事

月 日	行 事 名	会 場	備 考
4月29日（日）	牧野地区用水路清掃に参加	牧野・原口地区	8名参加
5月20日（日）	家族会総会・懇親会	会議室、陽だまりの広場	家族28名、職員15名
5月24日（木）	みずほの会総会	みずほの里	地域住民参加22人
7月20日（金）	防火訓練（みずほ・GH）	みずほ・GH	通報避難・消火訓練
7月 3日（火）	合同慰霊祭（長期入居・GH）	陽だまりの広場	上山仏教協和会6人
7月29日（日）	みずほの里 夏まつり	みずほの里	
9月 2日（日）	高齢者会食懇談会①（市委託）	陽だまりの広場	参加者27人
9月14日（金）	敬老会（みずほ・GH）	陽だまりの広場	
9月23日（日）	高齢者会食懇談会②（市委託）	陽だまりの広場	参加者22人
9月30日（日）	羽州街道飛脚駅伝大会参加	本庄地区	長期／GH 入居者様見学
10月29日（月）	家族会懇談会（サービス適正化意見交換会・芋煮会）	大会議室、陽だまりの広場	苦情解決委員第三者委員、ご家族様、利用者様
10月24日（水）	防火訓練（夜間想定）（みずほ・	みずほ・GH	通報避難

	GH)		
10月14日(日)	高齢者会食懇談会③(市委託)	陽だまりの広場	参加者29人
10月28日(日)	高齢者会食懇談会④(市委託)	陽だまりの広場	参加者43人
11月18日(日)	高齢者会食懇談会⑤(市委託)	陽だまりの広場	参加者41人
11月28日(水)	宮川地区民生児童委員研修会へ 講師派遣及び意見交換会	宮生地区公民館	2名参加
12月6日(木)	地域交流輪投げ大会	陽だまりの広場	牧野地区民12人
2月14日(木)	みずほの会懇談会	みずほの里	参加者18人
2月22日(金)	家族介護教室(市委託)	市保健センター	参加者13名



## 《ひいなの里》

### 1 経営基盤の安定

長期入所平均稼働率 97.0%（前年 96.8%）、短期入所平均稼働率 95.9%（前年 95.4%）、通常規模型デイ平均稼働率 88.3%（前年 87.5%）、認知症対応型デイ平均稼働率 68.5%（前年 61.4%）、居宅介護担当確保 1,287 件（前年 1,240 件）となった。

長期入所は例年より入院者が多く稼働率が低下し目標に届かなかったが、短期入所は年間を通して高稼働を維持し目標を達成できたとともに、長期入所の空床利用により長期入所の低稼働をカバーできた。通所介護は前年度より稼働率が改善したが、体調不良による当日キャンセルや短期入所利用が多く目標に届かなかった。認知症対応型通所介護は年間を通して大きな波が無く安定した稼働で目標を達成した。居宅は新規介護認定者の増加で年間を通して目標稼働を維持することができた。

### 2 施設整備

ダイルーム等共用部エアコンの更新を計画していたが、設備業者の事前調査によりエアコンの能力には問題がないことがわかり全体的な更新は行わなかった。しかし利用者居室エアコンの故障による更新が数台あり今後一斉の更新が必要か検討する。

小規模多機能型居宅介護事業所建設整備については、平成 30 年 9 月より工事を開始し予定通り平成 31 年 3 月に完成、同年 4 月より事業を開始している。

### 3 人材育成

新卒者 3 名、小多機新規開設に向けた中途採用者 9 名が入職した。新卒者についてはプリセプターにより介護の具体的な方法や接遇、記録の仕方、利用者体験等基礎から指導した。中途採用者はほとんどが介護職経験者であり技術や接遇等を確認しながら指導した。しかし、多くの職員がプリセプターとなったことでプリセプターごとの指導力の差が課題となり、平成 31 年度は新たに法人が作成したプリセプター制度マニュアルに沿った指導を実施していく。

介護キャリア段位制度の活用では、2 名がキャリア段位を取得した。

外部研修の活用推進としては、ほぼ全職員を外部研修に派遣し専門的知識を学ぶ機会を設けた。研修後は施設内研修において報告会や伝達講習会を開催した。

### 4 選ばれる施設・選ばれる職場

中重度者・認知症利用者受入推進として、他事業所では受入困難なケースにも

関係部署が連携し受入体制を整えた。

各事業所とも利用者の状態に合わせたアクティビティの充実に取組み、また、接遇・マナー力向上のため係会やミーティングで課題改善に取り組んだ。

職員のスキルアップ資格取得については、介護福祉士資格取得を目指し1名が実務者研修を受講した。

## 5 IT化推進

法人ホームページのスタッフブログで施設全体、事業所ごとの活動状況や各種情報を継続的に発信し施設の広報に努めた。小多機の求人活動において、見ている求職者も多く有効であった。

介護ロボットについては、現状に合った機器が見当たらず今後も継続して検討していくこととしたが、小多機に睡眠見守りセンサーを導入したので有効性を見極めながら施設全体への導入も検討したい。

## 6 みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携の推進

みゆき会グループとは居宅部門で定期的な研修会を開催しているほか、介護職喀痰吸引等研修において受講や講師派遣で連携した。

自治体とは小多機の開設に伴い協議を重ねることでより良い関係性を維持することができた。

また、地域高齢者会食会の開催に向け近隣地域の区長や民生児童委員の方々と打合せ等を密に行うことでより一層連携が強化できた。

## 7 社会福祉法人としての公益的取組の検討

地域交流ホールを活用し家族介護教室やひいなカフェ、地域高齢者等会食会を開催した。ひいなカフェでは外部講師の講演会、福祉用具の展示説明会、季節ごとのイベント、サハトベにばなホールでの映画上映会等を実施、多くの方に来場いただいた。また、平成30年度の法人の事業として地域高齢者会食会を初めて開催し地域の方々から好評を得た。

災害時の地域連携については、町と福祉避難所の協定を締結しており開設要請時には施設としては対応可能であるが、実際の受入れ等について地域の方々との訓練も検討していきたい。

## 8 その他

諸行事、その他

月 日	行 事 名	会 場	備 考
-----	-------	-----	-----

6月22日(金)	総合防災訓練	ひいなの里	通報・避難・消火訓練
7月17日(火)	映画「ケアニン」上映会	サハトベにばな	ひいなカフェ 来場者約120名
8月5日(日)	ひいなの里夏祭り	地域交流ホール	利用者、家族、地域住民
10月21日(日)	敬老会	地域交流ホール	利用者、家族
11月11日(日)	地域高齢者会食会	地域交流ホール	地域一人暮らし高齢者 等27名
2月22日(金) 23日(土)	家族介護教室 (認知症の理解 ラクヨーガ等)	地域交流ホール	地域住民 ①17名 ②13名
3月19日(火)	認知症看護認定看護師高橋 聡子氏講演会	地域交流ホール	ひいなカフェ 来場者39名
3月25日(月)	夜間想定総合防災訓練	ひいなの里	通報・避難・消火訓練

(3) アクシデント状況

報告数 791件 (内、ヒヤリハット588件)

骨折事故等 2件 (右大腿骨転子部骨折 腰椎圧迫骨折)

(4) 苦情対応

苦情件数 3件 (職員の対応について)

(5) 車両事故

事故件数 10件 (内、人身事故 0件)

## 《 ながすずの里 》

### 1 経営基盤の安定

特養平均稼働率 98.1% (前年 98.8%)、グループホーム平均稼働率 98.6% (前年 97.9%)、小規模多機能平均登録稼働率 97.9% (前年 96.1%)、居宅担当確保数 (介護予防込) 1,132 件 (前年 981 件) となった。特養は 1 年以上退居者がなかった前年度を下回ったものの、空床ショートステイの稼働が増えて目標の 28.4 名を超える 28.5 名の稼働になった。グループホームも前年を上回って目標を達成し、新規申し込み (新規 14 名、3 月末現在待機者計 36 名) も多かった。小規模多機能は前年を下回ったものの目標の登録者数 27.7 名を超える 28.4 名の平均登録者数となり、年度を通して安定した登録者数となった。居宅は介護支援専門員の 3 名体制が 2 年目を迎え、安定した運営となった。

### 2 施設整備

5 年を経過し、居室ドアや電話設備など設備のメンテナンスを随時行った。ユニット内に家具や生活道具を配置し、生活環境づくりに努めた。業務員 (障がい者雇用) を配置し、施設周囲や庭の草木の管理を改善した。

### 3 人材育成

毎月の内部研修は、外部講師も多彩に充実した内容になった。外部研修の復命書を職員休憩室に配置して閲覧できるように配慮し、研修案内のチラシを職員掲示板に掲示するなど職員の学ぶ機会が増えるよう工夫した。法人内の他施設実習は参加職員 2 名にとどまったが、かみのやま医療介護施設連携連絡の他施設実習にも 2 名が参加し、上山市内の他施設で実習を行って人材育成における市内の連携を図った。小多機 hina の開設に伴い、ひいな の里より 7 名の他施設実習を小多機ながすずで受け入れ交流を図った。介護支援専門員と介護福祉士の受験勉強会をそれぞれ開催し、介護支援専門員 (受験 5 名中) 1 名、介護福祉士 (受験 3 名中) 2 名の合格者を出した。介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者を新たに 1 名が取得し、介護力向上に努めた。ながすずの里に所属する 3 名の山形県認知症介護指導者が山形県認知症介護実践者研修等で講師を務め、施設内研修や法人階層別研修で講義演習を担当するなど職員のスキルアップを図った。

### 4 選ばれる施設・選ばれる職場

平成 30 年 8 月より特別養護老人ホームとグループホームに歯科衛生士を 1 名配置してケアの充実を図った。継続して 30 年度も喀痰吸引等研修へ 3 名の受講者を出し、要介護重度者へ備えた。認知症ケアへの取り組みとして認知症介護実践リー

ダー研修の修了者1名、認知症介護実践者研修の修了者1名を出し、認知症ケアの実習課題に取り組んだ。法人の奨学金貸付制度を職員1人が活用し、職場で受験勉強会を開催するなど資格取得をサポートして2名が介護福祉士資格試験に合格した。この他、キャラバンメイト、上級リスクマネージャー、認知症対応型サービス事業管理者、小規模多機能計画作成担当者等の資格取得を図った。前年度に続き定期的に防災訓練を行い、地元消防団や家族、民生委員より意見や助言をもらった。防犯講習会も開催した。長清水地区の夏祭り・芋煮会、南小・南中運動会、南部地区の作品展示会、など、地区回覧板をもとに地域の行事に積極的に参加した。上山青年会議所主催のスマイルプロジェクトに協賛し、昔遊びコーナーで利用者が「なわなひ」を実演するなど地域行事に貢献した。春と秋の衣替えの時期に合わせて衣料品の出張販売（お買い物イベント）の行事を催し、家族と一緒に楽しめる機会を作った。グループホーム管理者が山形県グループホーム連絡協議会の役員（理事：事務局長）を務め、東北大会の山形県開催に尽力した。

## 5 IT化推進

特養ホームに介護ロボット（睡眠見守りセンサー「まもる一の」）を導入し、介護環境の改善を図った。介護保険システムコンピュータソフトの契約更新に伴い記録システムを全事業所に導入し、介護職場の労働環境の改善に取り組んだ。

## 6 みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携の推進

かみのやま医療介護施設連携連絡会に参加し、他施設実習や情報交換等行った。居宅介護支援部門で、みゆき会グループ内の連絡会に参加した。運営推進会議等の開催により、地域や行政など関係機関との連携を図った。かみのやま病院祭に開催協力し、「かみのやまカフェ」の運営状況について発表を行った。社会福祉法人走翔会が主催する「ながすず元気食堂（子ども食堂）」に開催協力した。

## 7 社会福祉法人（施設）としての公益的取組の検討

かみのやまカフェ（月1回）で認知症に関するさまざまな行事を企画し、認知症に関する情報発信と集う場所作りに努めた。長清水公民館における出張かみのやまカフェも1年を経過し、長清水地区の方々と関係ができてきている。音楽療法士による音楽療法（隔月開催）を地域に開放して毎回地域住民の参加があり、ゲスト講師を招いての職員研修会を地域公開講座として開催した際にも多数の地域住民の参加があった。長清水地区のお子供会行事（資源回収、樽神輿）、ながすずの里納涼祭などを通して、地域との交流を深めた。ペットボトルキャップを集めて利用者が山形銀行に寄付に出向いたり、利用者が作成した雑巾を上南中に寄附して吹奏楽部の定期演奏会に招かれるなど、地域に貢献するアクティビティに意識して取り組

んだ。認知症介護の映画「ケアニン」のアンコール上映会を「平成30年度 山形県介護のお仕事プロモーション事業」に協賛して開催した。「社会福祉法人等による利用者負担軽減制度」を特養と小多機（計2名）で実施し、経済的困窮世帯を支援した。

## 8 その他

### ながすずの里 諸行事

月 日	行 事 名	会 場	備 考
6月25日(月)	防災訓練	ながすずの里	通報避難・消火訓練
8月17日(金)	第5回納涼祭	ながすずの里	ご家族・地域住民参加
8月22日(水)	夜間呼集訓練	ながすずの里	
9月17日(月)	敬老会・芋煮会	ながすずの里	ご家族30人参加
10月15日(月)	防災訓練(夜間想定)	ながすずの里	通報避難・消火訓練
12月13日(木)	クリスマスコンサート	ながすずの里	ボランティア「イリーゼ」
12月18日(火)	防犯講習会	ながすずの里	(株)スリーエスより
2月14日(木)	映画「ケアニン」	ながすずの里	かみのやまカフェにて
2月16日(土)	アンコール上映会		
2月22日(金)	グループホーム外部評価	GH ながすず	外部評価機関2名来所

### ○アクシデント状況

報告書数 826件(内、ヒヤリハット393件)

骨折事故等 6件(特養3件:左下前腸骨棘裂離骨折、左肋骨骨折、右大腿骨頸部骨折、グループホーム3件:第一腰椎圧迫骨折、右大腿骨大転子部骨折、左眼窩・左頬・上顎骨折)

### ○苦情対応

苦情件数 5件(特養3件、小規模多機能2件)

### ○車両事故

事故件数 2件(内、人身事故 0件)

平成30年度 リスクマネジメント報告

社会福祉法人みゆき福祉会

区 分	分 類		件 数		
			みずほの里	ひいなの里	ながすずの里
報告内容	利用者に関する こと	転倒転落	164	69	88
		誤嚥	2	2	3
		誤薬	2	21	2
		外傷・熱傷	458	47	181
		離施設	4	1	2
		異食行為	8	3	114
		破損等	19	12	7
		骨折	4	2	6
		その他	116	46	30
		計	777	203	433
	施設経営に関する こと	法令規制	0	0	0
		競争環境	0	0	0
		事業戦略	0	0	0
		資金調達	0	0	0
		保証債務	0	0	0
		損害賠償	0	0	0
		サービス	0	0	0
		個人情報	0	0	0
		人材確保	0	0	0
		人材教育	0	0	0
		労働安全	5 (労災)	0	0
その他	1	0	0		
計	6	0	0		
ヒヤリハット件数		302	588	393	
総 数		1,085	791	826	
損害保険	上記中、損賠保険対象となった案件 (骨折等に関する損賠保険の適用)	3	2	2	
その他	上記中、解決の見込みのない案件	0	0	0	
	( )	0	0	0	

※ 各施設とも規定に基づき「リスクマネジメント委員会」を設置

平成30年度 苦情受付結果

社会福祉法人みゆき福祉会

区 分	分 類		件 数		
			みずほの里	ひいなの里	ながすずの里
受付内容	サービス支援等に関すること		2	0	2
	食事に関すること		0	0	0
	医療に関すること		0	0	0
	環境等に関すること		1	0	0
	利用者間に関すること		0	0	0
	金銭管理に関すること		0	0	0
	職員の処遇等に関すること		2	3	0
	その他		1	0	3
	計		6	3	5
処理内容	解 決	苦情解決責任者、受付担当者との話し合い又は苦情内容の改善解決	6	3	5
		第三者委員又はその他の方法での解決	0	0	0
	話し合い継続中		0	0	0
	今後、改善を要する		0	0	0
	計		6	3	5

※ 各施設とも規定に基づき「苦情解決委員会（第三者外部委員含）」を設置